

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	明美文化服装専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	服装科 洋裁専科	夜・通信	1040 単位時間	160 単位時間	
	服装科 教職専攻	夜・通信	1040 単位時間	160 単位時間	
	服装科 プロフェッショナルコース	夜・通信	4240 単位時間	320 単位時間	
	服装科 ビジネスコース	夜・通信	1080 単位時間	160 単位時間	
(備考) ビジネスコースは今年度新設のため、1080 時間の内 2 年次分である 560 時間は予定					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.akemibunka.com/information/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	明美文化服装専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.akemibunka.com/information/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	24. 10. 28 ~28. 3. 24	財務・経理
非常勤	会社役員	24. 10. 28 ~28. 3. 24	企画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	明美文化服装専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成・公表時期 2025年度の時間割完成後、それぞれの担当教員に作成を依頼し、事務局にて取りまとめを行う。4月末までには公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.akemibunka.com/information/index.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・レポート提出(校外授業、リサーチ、インターシップ) 5回～6回 ・演習課題マップ、カラー ・作品制作(ショー作品も含む) ※1年次7点、2年次8～9点、3・4年次10点以上 ・単位認定試験(前期・後期) ※成績が悪い場合、追試を実施 ・卒業制作、自作自演の作品1点 ・校外のイベントで必要と思われる催しへの参加 ※年に3～4回見学し、レポート提出	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
合格	
得点	評価 G P A得点
100～90	S 4. 0
89～80	A A 3. 5
79～70	A 3. 0
69～60	B B 2. 5
59～50	B 2. 0
49～40	C C 1. 5
再試験合格	C 1. 0
不合格	
得点	評価 G P A得点
再試験不合格	F 0. 0
試験欠席	欠席 —
失格	失格 —
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.akemibunka.com/information/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
・出席率80%以上 ※特別な理由がある場合は、この限りではない。(入院、経済的理由、休学等) ・単位2/3以上 ・学校行事の参加(特別な理由がある場合は、不参加も可) ・卒業作品の制作	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.akemibunka.com/information/index.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	明美文化服装専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.akemibunka.com/information/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.akemibunka.com/information/index.html
財産目録	https://www.akemibunka.com/information/index.html
事業報告書	https://www.akemibunka.com/information/index.html
監事による監査報告（書）	https://www.akemibunka.com/information/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
家政		専門課程	服装科（洋裁専科）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 240 単位時間	400 単位時間	80 単位時間	1280 単位時間	40 単位時間	440 単位時間
			2240 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3 0 人		2 5 人	2 5 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画の作成・公表時期 2025年度の時間割完成後、それぞれの担当教員に作成を依頼し、事務局にて取りまとめを行う。4月末までには公表する。 ※授業計画の内容についてはシラバス参照
成績評価の基準・方法
（概要） S～Cで表す。在籍数：100%【5=10%、4=20%、3=50%、2=20%】 ※単位が取れなかった場合は1となる。 出席率、単位認定試験（前期・後期）、授業態度、提出物（レポート・製作作品等）
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年間の平均出席率80%以上 1年間のGPAが平均C以上

学修支援等
(概要) 成績不良者、出席率の低い生徒への補講授業を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	5 人 (83%)	1 人 (17%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ファッション系（デザイナー・パタンナー・縫製等）			
(就職指導内容) 個別相談、面接指導、ポートフォリオの作成方法等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 洋裁技術検定(中級)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	14%
(中途退学の主な理由) 就職のため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
家政		専門課程	服装科（教職専攻）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2,240 単位時間	400 単位時間	80 単位時間	1280 単位時間	40 単位時間	440 単位時間	
			2240 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10 人		7 人	7 人	3 人	3 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画の作成・公表時期 2025年度の時間割完成後、それぞれの担当教員に作成を依頼し、事務局にて取りまとめを行う。4月末までには公表する。 ※授業計画の内容についてはシラバス参照
成績評価の基準・方法
（概要） S～Cで表す。在籍数：100%【5=10%、4=20%、3=50%、2=20%】 ※単位が取れなかった場合は1となる。 出席率、単位認定試験（前期・後期）、授業態度、提出物（レポート・製作作品等）
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年間の平均出席率80%以上 1年間のGPAが平均C以上
学修支援等
（概要） 成績不良者、出席率の低い生徒への補講授業を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	3人 (100%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 個別相談、面接指導、ポートフォリオの作成方法等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術検定（中級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	2人	40%

(中途退学の主な理由) 就職のため、家族ビザ取得のため
(中退防止・中退者支援のための取組)

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
家政		専門課程	服装科（プロフェッショナルコース）				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	4,480 単位時間	800 単位時間	160 単位時間	2,560 単位時間	80 単位時間	880 単位時間	
			4480 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
35 人		9 人	0 人	4 人	3 人	7 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成・公表時期 2025年度の時間割完成後、それぞれの担当教員に作成を依頼し、事務局にて取りまとめを行う。4月末までには公表する。 ※授業計画の内容についてはシラバス参照
成績評価の基準・方法
(概要) S～Cで表す。在籍数：100%【5=10%、4=20%、3=50%、2=20%】 ※単位が取れなかった場合は1となる。 出席率、単位認定試験（前期・後期）、授業態度、提出物（レポート・製作作品等）
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年間の平均出席率80%以上 1年間のGPAが平均C以上
学修支援等
(概要) 成績不良者、出席率の低い生徒への補講授業を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

5人 (100%)	1人 (20%)	4人 (80%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ファッション系（デザイナー・パタンナー・縫製等）・製造業・IT系			
(就職指導内容) 個別相談、面接指導、ポートフォリオの作成方法等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 専修学校准教員資格、専修学校教員・各種学校正教員資格、大学院受験資格 洋裁技術検定(中級・上級)、ファッションビジネス能力検定1～3級 ファッション販売能力検定1～3級、パターンメイキング技術検定1～3級 色彩検定1・2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	20%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
家政		専門課程	服装科（ビジネスコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,760 単位時間	440 単位時間	800 単位時間	360 単位時間	0 単位時間	160 単位時間
			1760 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人		195 人	195 人	7 人	13 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画の作成・公表時期 2025年度の時間割完成後、それぞれの担当教員に作成を依頼し、事務局にて 取りまとめを行う。4月末までには公表する。 ※授業計画の内容についてはシラバス参照
成績評価の基準・方法

(概要) S～Cで表す。在籍数：100%【5=10%、4=20%、3=50%、2=20%】 ※単位が取れなかった場合は1となる。 出席率、単位認定試験（前期・後期）、授業態度、提出物（レポート・製作作品等）
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年間の平均出席率80%以上 1年間のGPAが平均C以上
学修支援等
(概要) 成績不良者、出席率の低い生徒への補講授業を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
服装科 (洋裁専科)	150,000 円	747,000 円	150,000 円	その他：設備費、特別教育費
服装科 (教職専攻)	150,000 円	747,000 円	150,000 円	その他：設備費、特別教育費
服装科 (プロフェッショナルコース)	150,000 円	747,000 円	150,000 円	その他：設備費、特別教育費
服装科 (ビジネスコース)	150,000 円	747,000 円	150,000 円	その他：設備費、特別教育費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ https://www.akemibunka.com/information/index.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) ・ 関係業界団体・企業3名、在学生3名 ・ 学校関係者評価委員会は年1～2回実施 ・ 主な評価項目(学校運営、教育活動、学生支援、教育環境、財務、社会貢献等) ・ 学校長が責任者となり7月頃より順次、対策・改善を実施していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
クロスプラス株式会社	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	関係業界団体・企業
ナゴヤファッション協会	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	関係業界団体・企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ https://www.akemibunka.com/information/index.html		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.akemibunka.com>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H123310000491
学校名 (〇〇大学 等)	明美文化服装専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 伊藤学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ － ）人	－（ 0 ）人	－人（ － ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				－人（ －）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。